

氏名： 藤枝 修子 (FUJIEDA Shuko)
所属： 教育事業部 (女性研究者支援モデル育成プログラム)
学位： 理学博士 (立教大学) / Dr. Sci.
職名： 特任教授
専門分野： 女性研究者支援
E-mail： fujieda.shuko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

非線形科学/熱量測定/微小重力場科学/開発途上国支援/女子教育支援
Nonlinear Science / Calorimetry / Science under Microgravity / Developing Country / Girl's Education

◆主要業績

総数 (2) 件

- ・梅沢香代子、藤枝修子、漢—少数言語—英語化学用語辞典作成の試み—アフガニスタンからの化学および生物化学専攻の留学生のための実験室用語を中心に、広島大学教育開発国際協力センター (CICE) 国際教育協力論集、第 10 巻第 2 号、147 – 151 (2007) .
- ・藤枝修子、森義仁、E Uにおける留学生へのフレームワークづくりの概念に学ぶアフガニスタンの女子教育支援、広島大学教育開発国際協力センター (CICE) 国際教育協力論集、第 10 巻第 2 号、153 – 157 (2007)

◆研究内容 / Research Pursuits

アフガニスタンの女子教育支援に関わりをもつて数年になるが、平成 17 年度～ 19 年度の 3 年間の科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) の補助を受けたことにより、研究報告を 2 編まとめた。現地の女子教育現場を自分の目で見た経験から、母親が家庭内で子育てをしながら、日常生活に即応する視点での科学教育の教材をイラストを中心に読み聞かせ方式を想定して作成した。

カブール大学から本学への国費留学生が自然科学分野に数名いるが、ダリー語による意思疎通は不可能にちかく、英語の理解力にも問題があることから、実験室用語を中心とする用語集の作成を試みた。これは、ダリー語に限らず、少数民族言語などへの適用も想定している。さらに、E U 諸国では、数 10 カ国に共通する留学生教育の規範を学部、修士の学生のために、実験科目、周辺科目などを含めて詳細に決めている。これらをドイツの大学で留学生センターの教員と情報交換し、担当の教員には心理カウンセラーが役目をもつことなどの意見もあった。

◆メッセージ

女性が社会的役割を持つ立場に進出する事例は、最近増加しつつありますが、先進諸外国に比べれば、なお一層の時間が必要だと思えます。本学では、長い歴史の中で、大勢の女子学生を世に送り出しています。研究者、教員をはじめ、その活躍の分野は多彩です。また、その活躍のしかたも、人それぞれで、多様です。

受験生の皆さんが、本学の学生や院生向けのプログラムや女子教育プログラムを垣間見る機会があれば、その充実ぶりには、参考になるところがたくさんあると思えます。よく、「偉人の伝記を読みなさい」と言われますが、多彩に、多様に、今を生きている先輩女性たちをロールモデルとして知ることができます。

また、在学中の学生、大学院生の考え方や、どのようなことに興味をもっているか、などなど、きっと、受験生の皆様には興味をもてると思えます。